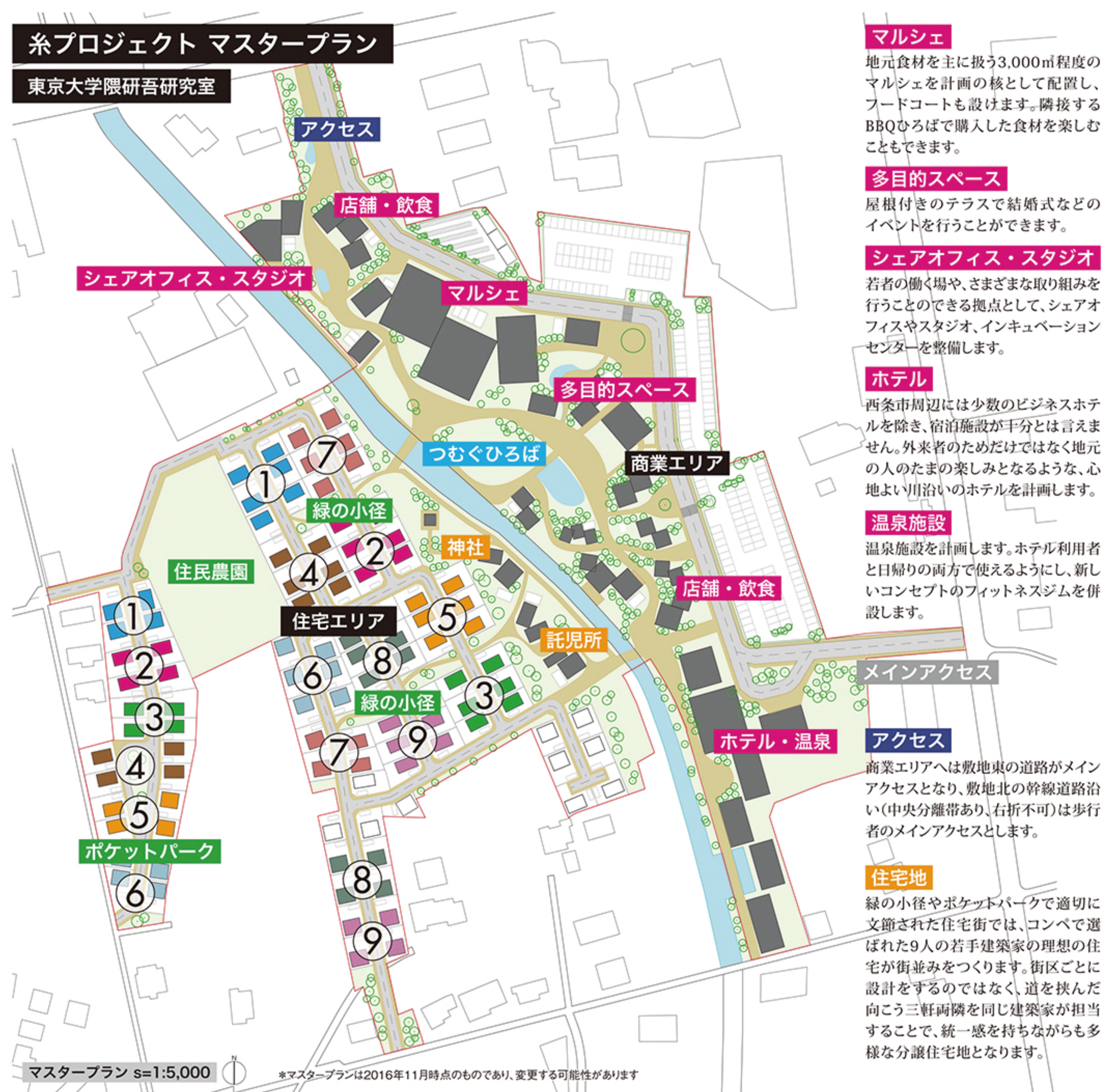


## 糸プロジェクト マスタープラン

東京大学隈研吾研究室



## マルシェ

地元食材を主に扱う3,000㎡程度のマルシェを計画の核として配置し、フードコートも設けます。隣接するBBQひろばで購入した食材を楽しむこともできます。

## 多目的スペース

屋根付きのテラスで結婚式などのイベントを行うことができます。

## シェアオフィス・スタジオ

若者の働く場や、さまざまな取り組みを行うことのできる拠点として、シェアオフィスやスタジオ、インキュベーションセンターを整備します。

## ホテル

西条市周辺には少数のビジネスホテルを除き、宿泊施設が十分とは言えません。外来者のためだけでなく地元の人のたまの楽しみとなるような、心地よい川沿いのホテルを計画します。

## 温泉施設

温泉施設を計画します。ホテル利用者と日帰りの両方で使えるようにし、新しいコンセプトのフィットネスジムを併設します。

## アクセス

商業エリアへは敷地東の道路がメインアクセスとなり、敷地北の幹線道路沿い(中央分離帯あり、右折不可)は歩行者のメインアクセスとします。

## 住宅地

緑の小径やポケットパークで適切に文脈された住宅街では、コンペで選ばれた9人の若手建築家の理想の住宅が街並みをつくります。街区ごとに設計をするのではなく、道を挟んだ向こう三軒両隣を同じ建築家が担当することで、統一感を持ちながらも多様な分譲住宅地となります。

## コンセプト

人にやさしく、人のつながりを大切にした「エネルギー」「テクノロジー」「グリーンインフラ」「食」「建築」の新しいまちづくりモデルとして、遊びやすく、住みやすく、自然溢れる計画をします。

## 1 エネルギー

太陽光、うちぬき(湧き水)や地下水によるヒートポンプなど、できる限り再生可能エネルギーを活用した、これまでにないエコビレッジを計画します。

## 2 テクノロジー

計画の一部で、人工知能をはじめとした先進的なテクノロジーの応用を模索し、カーシェアリングのシステムを取り入れたり、若者のためのインキュベーションセンターや実験スタジオを整備するなど、先端のテクノロジーも積極的に取り入れる実験的なまちづくりを行います。

## 3 グリーンインフラ

敷地内の川や地形、敷地周辺の自然環境や地域植生を活かしたグリーンインフラを整備し、緑溢れる環境を形成します。川沿いに桜を植えて桜のリバーフロントとし、近隣の桜並木と連続をさせながら、うちぬき(湧き水)を利用した心地よい水量をつくり出します。街と共に成長する地場の花木、神社周りの潜在自然植生、自然な護岸で蜚の誘致、瀬戸内海から石鎚山まで続く多様な植栽を最大限に取り入れます。

## 若手建築家による、多様で先端的な住宅エリア

## 若手建築家による住宅エリア形成

川の西側に、100戸の分譲住宅エリアを計画します。そのうちの90戸を、コンペティションで選ばれた9人の若手建築家が10戸ずつ設計することで多様な街並みを形成します。

## 道を挟んで並ぶ住宅群

コンペティションの対象となる宅地は、それぞれ道を挟んでグループを構成し「向こう三軒両隣」が同じ建築家によって設計されます。全体で90の敷地は4敷地と6敷地のグループの各9つずつに分けられ、建築家がそれぞれ離れたふたつのエリア計10軒を敷地として計画を行うことで、多様でありながらもまとまりのある街区構成とします。道も各建築家のデザインによって多様な表情の街並みとなります。

## 緑と水の溢れる住宅街

住宅エリアの街路には可能な限り緑を配置し、商業エリアとのバッファゾーンにも多くの自然を計画することで、緑溢れる閑静な環境をつくります。また水も流れる緑の小径やポケットパークも適宜配置され、緑のネットワークが良好な環境を形成します。

## 4 食

商業エリアは地元の農家や漁師の食材を扱うマルシェを中心とし、購入したものをその場でBBQで楽しめるような、地産地消の食文化を取り戻します。飲食店も地場オーガニック食材を中心に提供し、フードトラックなどの実験的な食の提供の場を整備することで、さまざまなイベントに対応するだけでなく、食の文化を育む土壌の形成を目指します。

## 5 建築

画一的な住宅エリアではなく、多くの若手建築家が集まってつくる多様で先進的な建築で緑溢れる街並みを形成します。計画初期には、マルシェとホテルに囲まれた「つむぐひろば」「親水ひろば」を中心に、屋台やフードトラック・モバイルハウスなどで仮設的な場の活用を行います。広場では西条祭りの「だんじり」を展示したり、祭りのイベントを行うこともできます。住宅エリアの分譲・建設と共に、段階的に商業エリアの店舗・飲食店・スタジオなどを整備していきます。

